

高齢者・視聴覚者・車いす体験

～4年生総合的な学習の時間～

甲府市ボランティアセンターから体験セットを借りて、高齢者・視覚障害者・車いす体験をしました。目的は身体的なハンデを持っている方たちは、どんな場所が大変で、どんな工夫で楽になるのかを知り、自分たちがどのようにコミュニケーションをとればよいのか考えることです。体験を通して子どもたちは、「体が重くて歩くのすら大変」や「白杖があるだけですこしは安心できる」「手すりってこんなにありがたいのか」など、様々な発見をしていました。今後については、「声をかけてもらうとうれしかったから、とりあえず声をかけてあげたい」「介助してくれると、とても安全に移動できたから、見かけたら手伝いたい」と、自身の経験をもとにした考えを持ち、生活に活かそうとしていました。

